

## 「実務者のためのデータベース研究講座 その5」開催のご案内

時下、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。また平素より日本薬剤疫学会の活動に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、日本薬剤疫学会 薬剤疫学とデータベースタスクフォースでは、医療情報データベースを用いて臨床疫学研究・薬剤疫学研究を行う実務担当者を対象に、下記の通り「実務者のためのデータベース研究講座 その5」を開催することになりました。

ご多用中とは存じますが、是非ともご参加を賜りますようお願い申し上げます。

### 記

開催形式： Zoom Webinar を用いたオンラインセミナー

日 時： 2022年3月29日（火） 13:30～16:30

※当日のみのライブ配信になる点ご注意ください。

定 員： 500人

参加費： 日本薬剤疫学会会員（正会員・学生会員）：無料，それ以外：3000円

参加方法： 開催案内のメールに添付させていただいた参加登録申込書よりお申込みの上、ご視聴下さい。

なお、参加登録申込書は以下の日本薬剤疫学会ホームページからもダウンロードできます。

<https://www.jspe.jp/committee/020/0210/> （画面下の方をご覧ください）

申込期限は3月22日になります。参加登録が完了後、Zoom Webinar 参加用 URL を記載したメールを下記連絡先に連絡いただいたメールアドレスにご連絡させていただきます。

なお、3月24日までに Zoom Webinar 参加用 URL が届かない場合には事務局までご連絡ください。

連絡先： 日本薬剤疫学会 薬剤疫学とデータベースシンポジウム事務局

e-mail: [db-seminar@jspe.jp](mailto:db-seminar@jspe.jp)

プログラム内容は、次ページをご参照下さい。

主催： 一般社団法人 日本薬剤疫学会 薬剤疫学とデータベースタスクフォース

後援（順不同）：

日本製薬工業協会

一般社団法人 医療データベース協会

一般社団法人 日本 CRO 協会

# 実務者のためのデータベース研究講座 その5

日本の医療情報データベースを用いて薬剤疫学、臨床疫学研究を行うデータサイエンス実務担当者を対象に、生データから解析用データセットを作成するまでのプロセスで留意すべき事項やコツなど、実装及び研究に活かせる情報を提供するセミナーの第5回目です。昨年、「日本における臨床疫学・薬剤疫学に応用可能なデータベース調査」の一覧表\*に保険者基盤のデータベースである、国民健康保険および後期高齢者医療広域連合から収集したレセプトデータ、健診データが新たに追加されました。これらのデータベースに関して実際にデータをハンドリングされている経験豊富な先生方から下記の内容でご講演いただきます。多くの方にご視聴いただけたら幸いです。

\*: 「日本における臨床疫学・薬剤疫学に応用可能なデータベース調査」の一覧表

[https://www.jspe.jp/mt-static/FileUpload/files/JSPE\\_DB\\_TF\\_J.pdf](https://www.jspe.jp/mt-static/FileUpload/files/JSPE_DB_TF_J.pdf)

## プログラム

日時: 2022年3月29日(水) 13:30~16:30

時間	タイトル	演者
13:30 - 13:35	開会の挨拶	今井 志乃ぶ 先生 (東京薬科大学)
13:35 - 14:15	基調講演: 医療情報データベースのデータマネジメントの実際	岡田 昌史 先生 (IQVIA ソリューションズ ジャパン株式会社)
14:15 - 14:55	事例紹介: アカデミアによる行政データや請求情報データの活用 事例から見えた現状と課題	佐藤 大介 先生 (千葉大学)
14:55 - 15:00	休憩	—
15:00 - 15:30	事例紹介: DeSC データベースの紹介	田中 暁子 先生 (DeSC ヘルスケア株式会社)
15:30 - 16:15	事例紹介: データヘルス分野でのデータハンドリングと DeSC データベースへの応用	永久 晴拡 先生 (株式会社 データホライゾン)
16:15 - 16:25	薬剤疫学とデータベースタスクフォースよりお知らせ: 「データの質の調査」チームからの報告	竹内 由則 先生 (東邦大学)
16:25 - 16:30	閉会の挨拶	今井 志乃ぶ 先生 (東京薬科大学)